

臨床研究「膵癌・IPMNにおける悪性度規定因子および治療標的分子に関する研究」について

筑波大学附属病院消化器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

膵癌は本邦において、がん種別で第4位の死亡数であり非常に予後不良の疾患として知られています。膵癌は2種類に大別され、膵上皮内腫瘍性病変を経由する浸潤性膵管癌（pancreatic ductal adenocarcinoma；以下PDAC、いわゆる“膵がん”に該当します）と膵管内乳頭粘液腫瘍を経由するintraductal papillary mucinous carcinoma（以下IPMC）が存在します。この両者は前癌病変における遺伝子変異の違いから、異なる分子機構が働き発癌に至るものと考えられています。PDACやIPMCの発癌に関する分子病理研究によって発癌機構が徐々に解明されている一方で、治療薬として応用できる分子の同定は数少なく、新規薬物療法の開発は滞っています。本研究ではIPMCおよびPDACとの共通因子を探索することにより、膵癌に対して普遍的な新規治療標的を同定することを目的としています。

② 研究対象者

2009年4月1日から当院でPDACまたはIPMCの治療を受けた方

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日まで

④ 研究の方法

通常診療で切除された膵癌の検体を分子病理学的なアプローチにより検討し、膵癌の予後に関わる分子を同定します。また、その分子が新規治療標的になりうるか検討します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

病院で保管・管理しているカルテの情報（血液検査、画像検査、生存期間など）、手術で切除された検体

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：筑波大学医学医療系 消化器内科教授 土屋輝一郎

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

ご本人やご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：消化器内科 遠藤壮登

電話番号： 029-853-3218 （平日 8:30～17:15）

上記以外の時間帯は 029-853-3110 に連絡の上、休日夜間受付から消化器内科休日担当医師にご
連絡ください